

第5期横浜市港南区地区センター 第2回指定管理者選定委員会 議事録

開催日時	令和8年8月10日（月） 午前10時40分～午前11時50分
開催場所	港南区役所5階 特別会議室
出席者	小室委員、長沼委員、藤崎委員、宮島委員、宮田委員（計5名）
欠席者	無し
開催形態	公開（傍聴人なし）、議題2（審議）から非公開
議題	はじめに（横浜市東永谷地区センターの指定管理者の選定について） 1 面接審査 2 審議
面接審査 ・ 審議	1 東永谷地区センター面接審査について 1 団体あたり、10分間のプレゼンテーション及び15分程度の質疑応答を行った。団体のプレゼンテーションの概要は資料のとおり。 【プレゼンテーション概要】＜応募団体 一般社団法人こうなん区民利用施設協会＞ ・当団体が管理運営する10施設で蓄積された業務スキルやノウハウ、指定事業の企画等を情報共有し、業務改善に取り組んでいく。また、港南区民活動支援センターとも連携を図る。 ・これまで、Wi-Fi設置の拡充やWEB予約システムの導入等、利用者の利便性向上に取り組んできた。 ・コンプライアンス向上及び個人情報保護については、当団体全体で検討・点検する体制を構築している。職員行動基準を定め、施設職員が常に自身の行動を振り返ることで、利用者から信頼を得られる施設づくりを目指す。また、施設での緊急時に備えて、セキュリティ対策やAEDの設置・取り扱い訓練を実施し、適切な対応ができるようにする。 ・東永谷地区センターの地域特性、地域ニーズをふまえて、子育て世代・学生・高齢者など幅広い層の異世代交流や地域支援が必要と考えている。5年後の利用者数95,000人を目標に、情報発信力の強化や予約方法の改善に取り組む。 ・利用者サービスの向上にむけて、ボランティア団体と連携した施近の緑化整備、学生による持ち込み企画の実施等を通じて、地域の担い手育成に取り組む。 ・指定事業では利用者の声も取り入れながら「青少年の健全育成」「生活力のアップ」など5つのテーマを計画する。魅力的なポスター制作やweb申込の実施、ウェブサイトの閲覧状況の分析により参加しやすい事業を展開していく。 ・自主事業では、豆抽出式コーヒーの設置やパンフレットラックへの広告配架を提案する。快適で利用者が気軽に集い交流できる環境づくり、自主財源の確保、来館者にも有用な地域情報の提供に貢献していく。 ・施設及び設備の維持管理計画では、予防保全の考え方を基本とし点検結果の記録を年間保守計画や長期修繕計画に反映し安全・快適な環境を保っていく。外構や植栽管理を適切に行いうるおいのある施設を目指す。 【主な質疑内容】 ＜委員＞

地域ケアプラザとの合築施設だが、どのように役割分担をしているのか。また、合築施設のメリット、デメリットを伺いたい。

<回答>

中庭を境に地区センターと地域ケアプラザが分かれている。2階に地区センターの受付があり、ケアプラザ利用者が来た時には職員が声をかけたり案内をしたりしている。健康促進や高齢者の見守り・支え合いなど福祉の観点で一緒に取り組めることは強みであり、連携して運営している。

<委員>

職員行動基準を確認したい。また、5年後の年間利用者数目標を設定しているが、一方で料理室のような稼働率が低い部屋もあるようで、その理由をどのように考えているか。料理以外の用途で使える割引利用も進めているようだが、その成果はいかがか。

<回答>

職員行動基準は5つある。また、料理室は新型コロナウイルス感染症の拡大を機に利用が減っていき、利用団体の高齢化も進み利用状況が戻ってきていない。料理以外の利用では稼働率が高くなる曜日もあり、自治会町内会の会議や楽器演奏などで利用されている。

<委員>

自主事業について、豆抽出式コーヒーの設置における利用価格や収入見込みはどの程度か。同様に、パンフレットラック広告についても使用料や掲出事業者数はどの程度を見込んでいるか。

<回答>

コーヒーは1杯150円とし、1日あたり15名程度の方が利用すると見込んでいる。目的外使用料等を除き、概算で50,550円を見込んでいる。パンフレットラック広告は10社で1,000円程度を想定している。目的外使用料等を除き、概算で82,800円を見込んでいる。

<委員>

施設の整備について、中庭ウッドデッキの修繕の実施状況はいかがか。

<回答>

まだ修繕はできていないが市に働きかけは行っている。利用団体と連携し、外から見て楽しめるように手入れはしている。

<委員>

指定事業の計画に健康マージャン教室があった。地区センターで用意されているのか。

<回答>

マージャン卓は地区センターに8台ある。

<委員>

低稼働の諸室の多目的利用について一般や高齢者層があまり多くないようだが、どういう形で新規利用者を獲得していこうと考えているか。具体的な広報戦略があるか。

<回答>

高齢者層に対しては地区センターを活発に利用いただくうえで、地域で元気に暮らしていただくことが基本と考え、地域ケアプラザと連携してボランティア養成講座や健康講座を開催する。若い世代に対しては、関心のあるボードゲームや親子向けイベントを休日に開催していく。また、WEB予約やInstagramなどのSNSを活用し、情報を受け取りやすい環境を整え、新規利用者の獲得を図っていく。

<委員>

WEB予約の実施について、今までの方法で利用していた方が困ってしまう場合も考えられるがどのように考えているか。

	<回答> 指定事業のWEBでの予約申し込みは、仕事などを理由に来館して申込ができないという利用者ニーズがあり始めた。来館申し込みだけではなくWEB予約も広めていきたい。 2 審議 【委員意見】 ・安定した運営が期待できる。行政課題に対して誠実に対応している様子が伺える。 ・SNSの活用が進んでおり、若い利用者が増えていると感じる。 ・地域との連携が進んでおり、地域コーディネートが充実している。 ・植栽管理が行き届いている点は評価できる。 ・地域ケアプラザとの合築施設なので、高齢者を対象とした事業の提案がもう少しあると良い。地域ケアプラザとの連携が弱く見られたのでさらに高める努力が必要である。 ・自主事業の収益や効果について、見込んでいる想定を達成できるかどうか懸念がある。 ・複合施設における危機管理体制が不十分と感じた。例えば訓練を年2回でやる、地域協働で実施するなど工夫できる余地がある。 ・稼働率が低い部屋について改善しようとする姿勢は見られたが、稼働率や目標数など数字が先走っておりどのように実現するかが見えづらい。なぜその数値が必要なのか、具体的にどうしたら果たせるのかを改めて検討いただきたい。 ・財務状況については、収入・利益ともに増加し、経営は安定していることが伺える。今後の方針としては、利用率の向上を図るとともに、指定事業・自主事業では利用者ニーズに合った企画を増やし、事業収入の強化を進めること、そして健全な支出管理を徹底することが重要だと考えられる。
審議結果	・一般社団法人こうなん区民利用施設協会を横浜市港南地区センター指定管理者の指定候補者とする（756点/925点）。
特記事項	特になし